

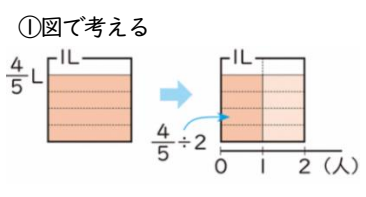
# 第6学年 算数科学習指導案

- 1 単元名 分数と整数のかけ算・わり算  
 2 単元指導計画

| 次 | 時   | 主な学習内容                                 |
|---|-----|--|
| 1 | 1   | 単位分数をもとにして、分数×整数の計算の仕方を考える。            |
|   | 2   | 分数×整数で、途中で約分して計算をする。                   |
| 2 | 3本時 | 単位分数をもとにして、分子が割りきれない時の分数÷整数の計算の仕方を考える。 |
|   | 4・5 | 分子が割りきれない時の分数÷整数の計算の仕方を考える。            |
|   | 6   | 分数÷整数で、途中で約分して計算をする。                   |

3 本時について (3/6)

- (1) ねらい 分数÷整数の計算の仕方を考える活動を通して、小数÷整数や分数×整数の時と同じようにもとにする数のいくつかで考えれば既習の計算の仕方でも計算できることに気づき、単位分数に着目して計算の仕方を考え、説明することができる。
- (2) 評価規準 単位分数に着目して、分数÷整数の計算の仕方を考え、説明している。(思考・判断・表現)
- (3) 学習展開

| 過程 | 学習活動   | 教師の指導・援助(留意点)  |
|----|--|--|
| 導入 | 1 本時の学習内容に問題意識をもつ。<br>・小数÷整数の計算の仕方を振り返る<br>・0.1をもとにして整数の計算にしたことを確認する。  | 【ICT活用の工夫】<br>・単元を見通した発表ノートにすることで、児童が必要な時に前時の学習を振り返ることができるようにする。                                     |
|    | 2 学習問題を確認する。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <math>\frac{4}{5}</math> Lのジュースを、2人で等分します。<br/>1人分は何Lになりますか。                 </div> ・数直線図を使って立式する $\frac{4}{5} \div 2$   | 【ICT活用の工夫】<br>・計算の仕方に見通しがもてない児童や式で考えることができた児童に対して、資料置き場のヒントカードを使い、計算の仕方を考えることができるようにする。              |
| 展開 | 3 課題解決の見通しを立てる。<br>・分数×整数のときと同じように、もとにする大きさのいくつかで考えれば、求めることができそうだ。   | 『深めの発問の工夫』<br>・もとにする分数のいくつかで考えることの良さを問うことで、既習の内容をもとにして考えられることに気付けるようにする。                             |
|    | 4 個人で追究する。<br><div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">                     ①図で考える<br/>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;">                     ②もとにする分数のいくつかで考える<br/> <math>\frac{4}{5}</math>は<math>\frac{1}{5}</math>の4個分。<br/> <math>\frac{4}{5} \div 2</math>は、<math>\frac{1}{5}</math>の<math>(4 \div 2)</math>個分。<br/> <math>\frac{1}{5}</math>が2個で<math>\frac{2}{5}</math> </div> </div> |  |
| 終末 | 5 全体で話し合い、課題を解決する。<br>・図で考えたり、もとにする分数のいくつかで考えたりすれば計算することができる。<br>・式と図を結び付けて説明する。<br>$\frac{4}{5} \div 2$ は、 $\frac{1}{5}$ の $(4 \div 2)$ 個だから、 $\frac{4 \div 2}{5}$ で求めることができる。<br><div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 5px;">                     〈深めの働きかけ〉<br/>                     「なぜ、もとにする分数のいくつかで考えるとよいのだろう？」<br/>                     ・整数÷整数の計算は習っているので、簡単に計算することができるから。小数÷整数、分数×整数でも同じ考え方で整数にして計算することができた。                 </div>   | 【ICT活用の工夫】<br>・画面投影の機能を使い、児童が自分のノートを見せながら話すことで、発表しやすくする。また、仲間のノートを見て、その考えを説明することができるようにする。           |
|    | 6 学習をまとめる。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     分数÷整数の計算は、小数÷整数や分数×整数と同じように、もとにする分数のいくつかを考えて求めることができる。                 </div> 7 本時の学習を振り返る。<br>・教科書 p.30 ⇨ 1 ペアで説明し合う<br>・教科書 p.30 ⇨ 2   | 【ICT活用の工夫】<br>・発表ノートの右上に自分の考え方のキーワードを赤で書き込む。そのキーワードを板書にも位置付けていくことで、キーワードを使いながら自分の言葉で学習のまとめができるようにする。 |